

長時間にわたる話し合い、お疲れ様でした。コロナ禍で当たり前前のごことが当たり前前にはできないことも多い中、こうして全校生徒が一堂に会し、真剣に話し合いに臨み、熱意と納得が感じられる生徒総会を開催でき、大変嬉しく思います。

今年度の高中の生徒会スローガン「^{つなぐ}繋」と、その達成に向けた重点目標「**広がる輪 仲間と団結し 実行する生徒会**」が決定し、年間活動計画も承認されました。

スローガンの3つの繋がりの中でも、**地域と世界との繋がり**に目を向けて活動していこうという点が、個人的にとっても素晴らしいと感じています。

グローバルなものの見方とか、グローバル人材など「グローバル」ということばをよく耳にします。では、グローバルとはどういうことを指すのでしょうか。私は、**グローバルとは単に国内外で活躍することを指すのではなく、「自分の置かれた場所で世界を感じ取り、自分に何ができるかを考え、行動できる」ことだ**と思います。**地域や世界を感じ、考え、実行するグローバルな高中生徒会活動への期待が膨らみます。**

さて、4月13日の生徒会任命式で、「私たちの生徒会は私たちが作る」、「より良い生活は自分たちで作る」という話をしました。覚えていますか。「誰かがやってくれる」、「誰かから何かをしてもらう」のではなく、ここにいる皆さん一人一人が、「**居心地の良い**」環境を、「**自分たちの手で**」作

っていく「自主・自立」の生徒会、それが高中生徒会です、そうお話ししました。

今日まで、生徒会執行部の皆さんが中心となって、時間をかけて作成してくれた原案を、各学級で、時間をとって、全員で真剣に討議し、そして本日の生徒総会で、みんなで決議しました。この道筋・プロセスは、「自分たちのことを、自分たちで考え、話し合い決める」という、まさに、民主主義のプロセスです。全員で決定したことから、「形だけの決議」「絵に描いた餅」では困ります。一人一人が無関心ではルールに反します。

「私たちの生徒会は私たちが作る」、「より良い生活は自分たちで作る」という思いで「本気」になれば、ほとんどのことは実現できます。皆さんの本気を見せてください。新しい高中を大いに期待しています。

最後に、明日5月1日は、高楯中学校の70歳の誕生日、創立記念日です。今年度は、諸般の事情から、11月の合唱コンクールの前段で、創立記念式典を開催する予定ですが、ぜひ、明日の誕生日をお家の方々と話題にしながら祝って欲しいと願いながら、講評といたします。